

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1～4年集中	1～4	1	選択
担当教員			
佐藤 健司			
添付ファイル			

講義概要	外国の大学や言語教育機関で行われる外国語研修に参加し、現地での活動と生活等とおして、外国語はもとより、英語によるコミュニケーションの方法、外国の社会生活、風俗習慣、ものの見方、考え方などを学ぶ。
授業計画	<p>1. 英語研修 研修先：オーストラリア、現地語学学校 研修時期（期間）：9月（約2週間） 研修内容：英会話を中心とした英語のレッスンをを行う。あわせて現地の海や山を訪ね大自然にも触れる。 宿泊がホームステイとなるので、ホストファミリーとの交流は絶好の英語学習実地訓練の場となる。</p> <p>2. 韓国語研修 研修先：韓国、大邱（テグ）大学校 研修時期（期間）：8月・2月に両月とも約3週間開講されるが、どちらかを受講すれば良い。 研修内容：韓国語の会話を中心にハングルによる発音の基礎から学ぶ。韓国の歴史や文化に触れるプログラムも用意されている。大学の寮に寄宿するので、韓国人学生との交流を深める時間も十分にあり。</p> <p>3. 中国語研修 研修先：中国、浙江工商大学 研修時期（期間）：8月（約3週間） 研修内容：中国語の会話を中心に基礎から学ぶ。中国の歴史や文化に触れるプログラムも用意されている。 中国人学生と交流するチャンスも是非利用したい。</p> <p>4. 台湾（中国語）研修 研修先：台湾、国立高雄応用科技大学 研修時期（期間）：9月・3月に両月とも約2週間開講されるが、どちらかを受講すれば良い。 研修内容：中国語を基礎から学ぶ。周辺観光施設や企業見学など、台湾の文化に触れるプログラムも用意されている。</p>
授業形態	講義と実地体験学習 アクティブラーニング：①:13回, ②:5回, ③:5回, ④:5回, ⑤:5回, ⑥:5回
達成目標	現地での外国語学習を通じて、外国語によるコミュニケーション能力と技術力を高める。
評価方法・フィードバック	言語教育機関での学習成績や出席状況によって合格、不合格の評価をする。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。
評価基準	合格：達成目標をほぼ達成している 不合格：達成目標を達成していない
教科書・参考書	教科書・参考書：なし
履修条件	なし。 ただし、韓国語研修受講者は本学の「韓国語1」を、中国語研修および台湾（中国語）研修受講者は本学の「中国語1」を履修していることが望ましい。
履修上の注意	学内で事前の研修があれば出席すること
準備学習と課題の内容	事前に現地の文化を調べておくこと。毎回の予習復習時間は平均して1.5時間程度だが、開講スケジュールなどによって異なることから、必要に応じて指導教員より都度伝える。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:15%, 態度:15%, 技能・表現:10%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	